

令和5年度公益財団法人船橋市公園協会事業報告書

第 4 2 期

令和5年4月1日から令和6年3月31日まで

法人の全体的事項

当法人は、「財団法人船橋市海浜公園管理協会」として、京葉臨海地域における社会環境の向上を目指し、緑化の推進・環境の整備を図ることを目的に昭和57年4月に設立され、船橋市海浜公園の管理運営を行った。

昭和62年11月、船橋市市制施行50周年記念事業の一環としてワンパク王国が開設されたことに伴い、同施設の管理運営を併せて行うようになり、その後、多様化する市民サービスの向上に寄与するとともに船橋市全域における事業の展開に対応するため、平成3年12月に法人名を「財団法人船橋市公園協会」に変更し、平成4年度から船橋市の都市公園及び体育施設の管理を受託している。

平成18年度からは、平成8年にワンパク王国が拡張整備され都市公園として名称も変更された船橋市アンデルセン公園及びふなばし三番瀬海浜公園において指定管理者制度が導入され、両施設の指定管理者として管理運営を行っている。

平成19年秋に開催された「第24回全国都市緑化ふなばしフェア」では、船橋市の共催者として様々な事業を展開し、都市緑化の推進及び公園の緑や環境の保全を図った。

また、平成20年12月1日の公益法人制度改革関連三法の施行後、特例民法法人として法人を維持したが、公益目的事業をより強化するため、平成24年4月1日に公益財団法人へ移行した。

なお、平成29年度から、当協会が代表を務める公益財団法人科学技術広報財団との共同事業体「ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館」管理運営グループが、両施設の指定管理者として管理運営を行ってきたが、令和4年度からの第2期指定管理期間においても同団体と共同事業体を結成し、事業体名称を「FSPグループ」に改め、引き続き管理運営を行っている。

また、ふなばし三番瀬環境学習館の活動が評価され、環境について学べる施設として令和6年度以降全国的に使用される小学校教科書（大日本図書「たのしい理科6」、東京書籍「新しい理科6」及び啓林館「わくわく理科6」）に掲載される。

なお、大日本図書「たのしい理科6」及び東京書籍「新しい理科6」は、令和2年度改訂版に続き2回目。このほか、千葉県教育委員会の「海の副読本-マンガで

学ぶわたしたちの海-」に当館職員のインタビューが掲載される。

さらに船橋市運動公園及び法典公園の指定管理者として、共同事業体「ふなスポ 活き生きパーク パートナーズグループ（美津濃株式会社（代表）、当協会、ミズノスポーツサービス株式会社、コナミスポーツ株式会社、株式会社オーチャー及びタイムズ24株式会社）」を結成し令和3年1月から管理運営を行なっている。

公益財団法人船橋市文化・スポーツ公社（以下「公社」という。）との合併に関しては、令和5年8月に理事会の議決を経て合併契約書を締結し、同月下旬に評議員会において同契約書の承認を決議した。その後、同年9月に千葉県に対して変更認定申請書を提出し、10月に開催した千葉県公益認定等審議会の審査を経て、同月末日に千葉県知事から認定書を受理した。

上記手続きと並行して、船橋市民ギャラリー・船橋市茶華道センターの指定管理申請を行い、12月に同施設の指定管理者指定通知を受理した。

その後、令和6年1月には、合併に係る官報公告と合わせ、当協会と公社の債権者に対して債権異議に関する催告通知を行い、一切の異議申し立てがなかったことから、合併登記及び公社の解散登記並びに定款の目的変更に係る手続きの準備を終えた。

事業概要

当法人は、都市緑化の推進及び環境の整備を行うとともに、公園、スポーツ・レクリエーション施設、芸術・文化施設及び干潟の効率的な管理運営と利用の促進を図り、うるおいとやすらぎのある市民生活に寄与することを目的として事業を行ってきた。

船橋市の代表的な施設である船橋市アンデルセン公園並びにふなばし三番瀬海浜公園及びふなばし三番瀬環境学習館の各施設の特色を活かし、お客様のニーズに合わせた質の高いサービスを提供するとともに公平・公正な管理運営に努めたほか、指定管理施設となった船橋市運動公園及び法典公園をはじめ船橋市から受託した都市公園等についても適正な管理業務を行った。

1. 船橋市アンデルセン公園

船橋市アンデルセン公園の豊かな自然と各ゾーンの特色を活かした管理運営を行い、安全・安心・快適な環境づくりに努めるとともに、園内を四季折々の花々で装飾し、花と緑にあふれた憩いの場を幅広い年代の方々へ提供した。

令和5年9月24日には平成8年の開園以来、入園者数が累計で1,500万人を達成し、イベントドームで記念式典を開催した。

冬季の利用促進を図ることとデンマーク文化を発信することを目的に、デンマークグッズの販売やリースづくり体験等のワークショップを実施するクリスマスマーケットの店舗数を増やして2年ぶりに開催した。

グッズショップでは、マグカップやメモ帳などの公園オリジナルグッズの販売を開始し、多くの売り上げがあった。

また、9月から3月まで船橋市による風車の改修工事が行われ、3月下旬からは約5年半ぶりに風車を回すことができ、今後の適正管理に向けて船橋市と協議のうえ管理マニュアルを作成し運用を始めた。

お花の情報やグッズ販売のPRなどを目的としたSNSによる広報活動として、これまで行っていたFacebookに加えInstagramの運用を2月から開始し、7回の投稿を行った。

子ども美術館では、子どもたちが自由な発想で創作する楽しさを体験できるアトリエプログラム事業を行うとともに、新進気鋭の作家による企画展を開催した。

また、H. C. アンデルセンの魅力の一つである「切り紙」をテーマとして開催した第14回アンデルセン公園きりがみ展では、歴代の受賞作品やデンマークの子ども達の作品のほか作家による切り紙作品やアンデルセンにまつわる資料等の展示を行い、切り紙を通してデンマークの文化を広く発信した。

さらに、「第15回アンデルセン公園きりがみコンクール」には、1,968点の応募があり、アンデルセン公園きりがみ大賞をはじめデンマーク大使賞やオーデンセ市賞等合計22点の入賞作品を選出した。

加えて、8月にはアンデルセン公園きりがみコンクール大賞受賞者の副賞「アンデルセンの足跡をたどる」デンマークへの旅として、第12回、第13回の受賞者を連れてオーデンセ市を訪問し、職員も研修として、ミュージアム・オーデンセの学芸員からアンデルセンにまつわる作品や施設レクチャーを受けて意見交換するなど親交を深めた。

アンデルセンスタジオにおいては、昨年度に引き続き感染症予防対策を行ったうえで、スタジオ施設を活用したワークショップ「ハンスのアトリエ」を開催し、7月から「しっかり者のすずの兵隊」、11月からは「親指姫」の劇を再開して、アンデルセン童話の世界を体感できる創造空間の場を提供した。

新たな取り組みとして、今年度より子どもたちの造形活動や体験型活動に主眼を置いて実施してきた子ども美術館の独自の企画や活動の魅力を見る人にわかりやすく楽しく伝えるため、活動報告冊子「令和4年度1年間のあゆみ」を発刊し広くPRに努めた。

2. ふなばし三番瀬海浜公園・ふなばし三番瀬環境学習館

平成29年度に都市公園として位置づけられたふなばし三番瀬海浜公園は、ふなばし三番瀬環境学習館、野球場、庭球場、展望デッキ、噴水広場などからなり、多様な施設の特色を活かした管理運営を行い、幅広い年代の方々が一年を通して楽しむことができる魅力ある公園づくりに努めた。

春から初夏にかけての風物詩として定着している潮干狩事業については、あさり

の供給が不安定になる可能性があったが、開催期間中の土日祝日の利用者数を、令和4年度に比べ1日当たり1,500人増の上限5,500人とし、総利用者数は48,540人となった。

三番瀬を主テーマとして開催した「第15回ふなばし三番瀬海浜公園フォトコンテスト」には、三番瀬の自然や三番瀬から見える富士山、公園内の写真など147点の応募があり、最優秀賞ほか15点の受賞作品を選出した。

その他、公園前面に広がる干潟に生息する多くの生物や植物、季節ごとに飛来する野鳥の観察会等を開催したほか、三番瀬に飛来する野鳥を題材とした野鳥カレンダーを制作、販売するとともに市内の小・中・特別支援学校に配布するなど、三番瀬の多様な魅力の発信に努めた。

駐車場においては、精算機を電子マネーや高額紙幣が利用可能な機械に交換し、お客様サービスの向上に努めた。

また、指定管理者応募時に提案した船橋市内の他の指定管理施設や民間企業、団体との共催によるイベントの開催や、災害時に備え、災害用トイレや担架、アルミ保温シート等を購入した。

ふなばし三番瀬環境学習館では、「知る」「考える」「学ぶ」の3つのゾーンを通して三番瀬の自然を楽しみながら学ぶことができる各施設の適正な管理運営に努めた。また、東京湾最奥部に残された貴重な干潟・浅海域である「三番瀬」の魅力を体感しながら、広範な環境への関心と理解を深めてもらうことを目的に学習館オリジナルのワークシートを活用した校外学習プログラムや多彩なテーマを設定したワークショップなどを多数企画し実施した。

新型コロナウイルス感染症の5類移行を受け、来館型のワークショップをメインに開催すると共に、引き続きオンライン型ワークショップや動画投稿サイトを用いたワークショップも実施した。

また、公益財団法人東京応化科学技術振興財団の助成金を得て、会員制の長期ワークショップ「三番瀬ラボメンバーズ」を開催し、25人の定員に対し19人の参加を受け、年度中のべ98回の活動を行った。なお、メンバーから「千葉県児童生徒・教職員科学作品展・科学論文の部 千葉県教育長賞」及び「木原記念こども科学賞 高学年の部 努力賞」受賞者を輩出することができた。

加えて、SNS等を積極的に活用して情報発信を行い、メディアや一般の方からの注目度も高まった。

これらの結果、今年度の学習館利用者数（特別展、企画展、ワークショップ、アウトリーチなどを含む）は開館以来最多の実績となり、今年度の目標を達成することができた。

3. 公園管理センター

船橋市から受託した都市公園等のほか、指定管理施設である船橋市運動公園及び法典公園についても、適正な管理を行い公園の緑や環境の整備に努めるとともに、市民ボランティアによる公園花壇への草花の植え付けや管理を通して、市民の緑化推進に対する意識や知識の向上を図った。

また、公園内の樹木の枯損・枯れ枝や遊具等の巡回・点検を実施するなど、きめ細かな管理を行うことで、市民が安全かつ、安心して快適に利用できる公園環境づくりに努めた。

さらに豊かな都市景観を創造することを目的とした「花いっぱいまちかどフェア花壇コンテスト業務委託」を受託し、花壇コンテストに応募のあった花壇及び庭等を審査し、併せて園芸相談と花壇づくりや植物管理のアドバイスを行うとともに年1回の寄せ植え講習会を開催することにより、都市緑化の推進に寄与した。

このような中、今期における事業内容は次のとおりである。

事業内容

I 公益目的事業

都市緑化の推進及び環境の整備を行うとともに、公園、スポーツ・レクリエーション施設、芸術・文化施設及び干潟（以下「公園等」という。）の効率的な管理運営と健全な利用の促進を図り、併せて市民の余暇の有効活用及び健康増進を支援し、もってうるおいとやすらぎのある市民生活に寄与する事業。

ア 都市緑化推進事業

公園等において、都市緑化推進及び緑化の普及啓発のために行う各種の講座、体験活動、展示会、コンテストなどの事業。

イ 環境整備事業

自然環境の保護・整備及び自然の観察並びに自然保護に関する普及啓発を目的とする事業。

ウ 公園等の管理運営・利用促進事業

公園等の施設、植栽等の総合的な維持管理。公園等を活用した各種の講座、体験活動、展示会、コンテストなどの事業。

1 船橋市アンデルセン公園運営事業

(1) 期 間 令和5年4月1日～令和6年3月31日

(2) 開・閉園日数 開園日数 322日 閉園日数 44日

(3) 入園者数

総入園者数 665,290人

有料入園者数 535,132人

無料入園者数 130,158人

有料入園者内訳

区 分	1日利用券 入園者数	パスポート 入園者数	合 計	比 率
一 般	265,375人	60,187人	325,562人	60.8%
高 校 生	1,882人	78人	1,960人	0.4%
小・中学生	112,469人	13,828人	126,297人	23.6%
幼児(4歳以上)	66,189人	15,124人	81,313人	15.2%
合 計	445,915人	89,217人	535,132人	100.0%

※1日利用券入園者数＝当日入園券購入者数＋前売券購入者数

※パスポート入園者数＝パスポート2回目以降入園者数

※パスポート購入者数＝20,808人

無料入園者内訳

区 分	人 数	備 考
市内教育団体及び 団体引率者	3,297人	
市内教育目的団体	10,180人	
障 害 者	26,709人	介護人を含む。
65歳以上	65,828人	
そ の 他	24,144人	内訳 4月2日 ※H.C.アンデルセン生誕日 2,250人 5月5日 ※こどもの日 4,638人 6月15日 ※千葉県民の日 866人 10月22日 市民無料開放デー 9,784人 3月3日 ※ひな祭りの日 1,874人 イベント関係入園者 1,744人 一般招待券 985人 さくら招待券 1,555人 その他 448人
合 計	130,158人	

※中学生以下の入園料無料日

(4) 船橋市アンデルセン公園の運営事業・都市緑化推進事業・利用促進事業・環境整備事業
実施イベント

No.	イベント名	開催月・回数
1	「さくらまつり」 ・アンデルセン童話をテーマにした「花の展示」 ・グリーンマーケット ・ステージショー 「草花の展示」 ・パンジー・ビオラ百選	4 月
2	「ゴールデンウィークイベント」 ・こいのぼり展示 ・ステージショー 「B O N S A I ・こけ玉展」 ・作品の展示、販売 ・こけ玉ワークショップ 7 回 「母の日押し花教室」 2 回 ・ハンギングバスケットコンテスト	4 月～5 月
3	「草花の展示」 ・サフィニアコレクション	5 月～ 6 月
4	「里山イベント 里山団」 ・田植え、自然観察会、稲刈り、収穫祭	5 月～11 月
5	「ラベンダースティック作り」 「ラベンダー花穂プレゼント」 「カザグルマ」挿し木講習会 ・ステージショー	7 月～8 月
6	「ひまわりまつり」 ・ひまわり植栽 ・ステージショー 「多肉植物のふしぎ展・即売会」	8 月
7	「押し花展示」 ・押し花作品の展示 ・押し花教室	8 月
8	「秋のイベント」 ・ステージショー	9 月～11 月

9	「コスモスまつり」 ・コスモス植栽 ・ハロウィン装飾 ・ステージショー ・グリーンマーケット ・コスモスを使った押し花額作り教室 「インドアガーデンの展示・即売会」	10 月
10	「子ども忍者道場」 「プリザーブドフラワー展示・即売会」 「ユールイベント」 ・クリスマス装飾 ・クリスマスマーケット ・クリスマスワークショップ ・降雪イベント ・ステージショー	11 月～12 月
11	「チューリップまつり」 ・冬に咲くチューリップ植栽 ・正月イベント ・ステージショー	1 月
12	「クリスマスローズコレクション」 ・花の展示、販売 ・ステージショー	2 月
13	「さくらまつり」 ・ステージショー	3 月
14	「らんのふしぎ展」 ・花の展示、販売	3 月
15	「都市緑化推進イベント」 ・花と緑の教室	年 21 回
16	「自然観察会」 ・花緑ウォッチング ・里山の生き物 ・紅葉ウォッチング	年 6 回
17	「やぎさんショー」	年 5 回
18	「パークライブステージ」	年 20 回
19	「都市緑化推進イベント」 ・ハンギングバスケット講習会	年 3 回
20	その他のステージショー	通年

(5) ボランティア活動

活動状況

区 分	登録者数	活動日数	備 考
ガイドボランティア	16 人	103 日	延べ活動数 223 人
花と緑のボランティア	128 人	108 日	延べ活動数 3,016 人

その他のボランティア（3団体）による園内花壇等の植栽管理

(6) 国際交流事業

- ① オーデンセ市で開催される「H. C. アンデルセンアワード」へ出席し、アンデルセン賞委員会と世界各国の受賞者との交流を図った。
- ② 「第15回アンデルセン公園きりがみコンクール」を開催。アンデルセン公園きりがみ大賞をはじめデンマーク大使賞やオーデンセ市賞等合計22点の入賞作品を選出した。
- ③ 「第12回、第13回アンデルセン公園きりがみコンクール」の大賞受賞者が副賞「アンデルセンの足跡をたどる」デンマークへの旅で、H. C. アンデルセンの生誕地であるオーデンセ市を訪問し、ミュージアム・オーデンセ（旧オーデンセ市博物館連合）の協力を得てアンデルセンにまつわる資料や施設見学を行うなど足跡をたどり、関係者との交歓を深めた。

(7) その他都市緑化推進事業

- ① ふなばし市民大学校（園芸学科）講師派遣・会場協力
- ② 船橋市緑の基本計画の施策に基づく緑化推進委員会への協力
- ③ 花いっぱいまちかどフェア花壇コンテスト審査員の派遣及び表彰式・講習会開催の協力

2 船橋市アンデルセン公園子ども美術館運営事業

(1) アトリエ等運営事業

利用状況

内 容	利用者数	備 考
アトリエプログラム運営事業	84,421 人	クラフトゾーン、パフォーマンスゾーンの各アトリエ創作活動プログラム
アンデルセンスタジオ運営事業	1,800 人	ハンスのアトリエ 親指姫 しっかり者のすずの兵隊

(2) 童話館運営事業

利用状況（無料体験）

内 容	利用者数
とくべつおはなし会	489 人
おはなし会	152 人
アンデルセンのきりがみ	7,589 人

(3) 子ども美術館の運営事業・利用促進事業
実施イベント

No.	イベント名	開催月
1	企画展 1 「命 まじわる 絵」村山大明	5 月～8 月
2	常設展 「缶響アート展」津田のぼる 「木彫のせかい」関口恵美	4 月～3 月
3	第 14 回アンデルセン公園きりがみ展	4 月～5 月
4	人形劇	4 月～3 月
5	子ども似顔絵	5 月～10 月
6	畑イベント ・藍アイクラブ ・コットンクラブ ・さつまいも団	4 月～11 月
7	第 15 回アンデルセン公園きりがみコンクール (作品募集)	4 月～12 月
8	サマーアトリエ～夏、体験！自由研究!!～ ・カラフルこっぱワールド！ ・夢のあき缶ロボットどうぶつ王国	8 月
9	令和 5 年度小・中・特別支援学校 夢・アート展	7 月～8 月
10	夏の展示 ・ゆらゆら ぱらぱら ひらひら 柔らかな絵本の世界へ 千葉工業大学創造工学部建築学科遠藤政樹研究室	9 月
11	ヤッサン一座の紙芝居	10 月
12	自然とあそぼう「くんせいキッチン」	11 月

13	秋のイベント ・ころがせ！コロコロ★ローラー ・アンデルセンと一緒に切り紙コラージュ	11 月
14	冬のイベント クリスマスマーケット ・つくろう♪星降るジェルオーナメント	12 月
15	お正月イベント ・達人と遊ぼう・新春のおもてなし	1 月
16	大人のアトリエ ・ふかふかマフラー・2色染大人のろくろ時間	1 月～2 月
17	春のイベント ・ニシハラ☆ノリオ かぶりもの工場	3 月

3 ふなばし三番瀬海浜公園運営事業

(1) 潮干狩事業

- ① 施設の内容 潮干狩場面積 142,016㎡
 ② 開催期間は、令和5年4月18日～令和5年5月25日（28日開催）
 総利用者数 48,540人
 有料利用者数 47,507人（大人32,405人、子供15,102人）
 無料利用者数 1,033人

(2) 庭球場運営事業

① 利用状況

区 分	利 用 日 数	利 用 時 間	利 用 人 数
平日	177 日	1,121 時間	1,871 人
土曜・日曜、祝日 法による休日	114 日	4,347 時間	9,645 人
合 計	291 日	5,468 時間	11,516 人

② テニス教室

ク ラ ス 数	受 講 者 数
8クラス・週5日	1,396 人

(3) 野球場運営事業

利用状況

区 分	利 用 日 数	利 用 時 間	利 用 人 数
平日	41 日	191 時間	2,718 人

土曜・日曜、祝 日法による休日	97 日	671 時間	9,530 人
合 計	138 日	862 時間	12,248 人

(4) ふなばし三番瀬海浜公園の運営事業・利用促進事業・環境整備事業
実施イベント

No.	イベント名	開催月	参加者数等
1	ふなばし三番瀬マルシェ	6 月	6 店舗
2	フォトコンテスト	12 月	147 点
3	千葉ロッテマリーンズ野球教室	2 月	雨天中止
4	共催イベント（美津濃株式会社 場所：法典公園）	12 月	188 人
5	共催イベント（株）ニコンビジョン・ （公財）日本野鳥の会）	1 月	65 人

4 ふなばし三番瀬環境学習館運営事業

(1) ふなばし三番瀬環境学習館総利用者数 65,661人

常設展利用者数 38,794 人		その他 26,867 人	
有料利用者 15,356 人		特別展・企画展 17,063 人	
一 般	11,974 人	有料利用者	4,038 人
高 校 生	99 人	無料利用者	13,025 人
小・中学生	3,283 人	ワークショップ利用者	
無料利用者 23,438 人		9,115 人	
一 般	1,117 人	アウトリーチ利用者	
高 校 生	0 人	689 人	
小・中学生	11,845 人	※アウトリーチとは 館外での教育普及活動のこと（出前講 座等）	
就 学 前	6,019 人		
障 害 者 等	2,776 人		
研修・視察等	1,681 人		

(2) キッチンスタジオ運営事業

No.	イベント名	開催月・回数
1	船橋産食材を用いた食育プログラム（オンライン含む）	12 回

2	食材を用いた生物学プログラム（オンライン含む）	14 回
3	その他のキッチンワークショップ	6 回

(3) オリジナル特別展等運営事業

No.	イベント名	開催月・回数
1	特別展（夏）「さいきょう妖怪サバイバル」	7 月～8 月
2	「三番瀬鳥と海の生きものアートフェスティバル」	10 月
3	特別展（春）「三番瀬なりきり運動会」	3 月

(4) ふなばし三番瀬環境学習館の運営事業・利用促進事業・環境整備事業
実施イベント

No.	イベント名	開催月・回数
1	企画展（春）「これでバッチリ！潮干狩り 2023」	4 月～5 月
2	企画展（秋・冬） 「知っておけばこわくないこのへんの毒展」	11 月～2 月
3	企画展（秋・冬）関連講演・ワークショップ 「実験！体験！危険な生きものについて知ろう」	1 月
4	天体観望会（オンライン実施を含む） （天候不順により実施回数減）	11 回
5	野鳥観察会 （オンライン実施を含む/天候不順により実施回数減）	10 回
6	観察会（干潟, 植物, 昆虫, 企画展関連, その他） （オンライン実施を含む/天候不順により実施回数減）	55 回
7	ワークショップ・講座等（オンライン実施を含む）	124 回
8	工作教室等（企画展関連、オンライン実施を含む）	131 回
9	その他体験（企画展関連、オンライン実施を含む）	11 回

5 船橋市からの受託事業等

(1) 公園等管理事業及び緑化推進事業（公園管理センター）

①船橋市の指定管理者として管理運営を行った都市公園（2 か所）

分 類	公 園 等 名 称
指定管理施設(2 か所)	船橋市運動公園、法典公園

② 法典公園で実施した都市緑化推進イベント

・多肉植物の寄せ植えづくり

12月

③ 船橋市から受託した都市公園等の管理事業（49か所）

分 類	公 園 等 名 称
地区公園（1か所）	若松公園
近隣公園（11か所）	小室公園、高才川緑地公園、坪井近隣公園、夏見台近隣公園、御滝公園、高根木戸近隣公園、北習志野近隣公園、薬円台公園、田喜野井公園、西船近隣公園、大穴近隣公園
街区公園（20か所）	小室北公園、小室南公園、小室西公園、豊富町公園、鈴身町つつじ公園、高根台さくら公園、高根木戸第2号公園、高根木戸第3号公園、高根木戸第4号公園、北習志野第7号公園、北習志野第8号公園、宮本台公園、宮本台北公園、宮本南公園、池の端公園、天沼弁天池公園、勝間田公園、海神町2丁目公園、本郷公園、高根木戸第1号公園
緑 地（3か所）	小室緑地、東船橋花輪緑地、高瀬町緑地
体育施設（10か所）	豊富まちかどスポーツ広場、高瀬町まちかどスポーツ広場、若松公園体育施設、高根木戸近隣公園庭球場、北習志野近隣公園庭球場、行田運動広場、高瀬下水処理場上部運動広場、藤原まちかどスポーツ広場、古和釜町まちかどスポーツ広場、大穴まちかどスポーツ広場
その他（4か所）	小室調節池、小室緑道、小室歩行者専用道、歩行者専用道

④ 市民協働による花壇管理事業

・坪井近隣公園、天沼弁天池公園

⑤ 船橋市主催イベントにおける講習会事業

・天沼弁天池公園「緑と花のジャンボ市」 5月・10月

⑥ 腐葉土用落ち葉の配布事業

・小室公園

⑦ 船橋市から委託を受ける都市緑化推進事業

・花いっぱいまちかどフェア花壇コンテスト

(2) 人工海浜施設等管理事業（ふなばし三番瀬海浜公園地先）

① 監視業務

監視面積 406,000㎡ (350m×1,160m)

② 清掃業務

清掃面積 58,950㎡ (50m×600m) 30回
(25m×560m) 14回
(65m×230m) 14回

③ 整地業務

整地面積	44,000 m ²	(50 m × 495 m)	2回
		(50 m × 105 m)	1回
		(25 m × 560 m)	1回

④ 松林草刈業務

業務面積	8,400 m ²
------	----------------------

⑤ 総合管理業務

管理時間	2,880時間 (360日 × 8時間)
------	----------------------

II 収益事業等

当協会の公益目的事業の推進に資するため、公園等における駐車場の管理運営、売店等の管理運営、遊戯施設の管理運営を行い、利用者の利便を図る事業。

1 駐車場施設の管理運営事業

(1) 船橋市アンデルセン公園

① 収容台数 1,100台

② 利用状況（臨時駐車場利用含む）

区 分	利用台数
大型自動車（マイクロバスを含む）	1,567 台
普通自動車	171,124 台
合 計	172,691 台

(2) ふなばし三番瀬海浜公園

① 収容台数 408台（第1駐車場）

② 利用状況（臨時駐車場利用含む）

区 分	利用台数
大型自動車（マイクロバスを含む）	302 台
普通自動車	53,687 台
合 計	53,989 台

2 売店等施設の管理運営事業

(1) 船橋市アンデルセン公園

区 分	設 置 数	内 容
常設売店	12 店舗	飲食 10 店舗 物販 2 店舗
臨時売店	4 店舗	飲食 4 店舗
食堂	1 店舗	レストラン
自動販売機	41 台	飲料 39 台 食品 2 台

(2) ふなばし三番瀬海浜公園

区 分	設 置 数	内 容
常設売店	5 店舗	飲食 4 店舗 物販 1 店舗
臨時売店	2 店舗	飲食 1 店舗 グッズ貸出 1 店舗
バーベキュー場	1 事業者	114 区画
自動販売機	8 台	飲料 6 台 飲料・菓子 1 台 飲料・雑貨類 1 台

※バーベキュー場利用者：24,389 人

(楽ちんエリア 13,268 人・もちこみエリア 11,121 人)

(3) ふなばし三番瀬環境学習館

区 分	設 置 数	内 容
食堂	1 店舗	レストラン
自動販売機	1 台	飲料 1 台

3 遊戯施設運営事業

(1) 船橋市アンデルセン公園

利用状況

区 分	利用者数等
ポニー乗馬運営事業	24,342 人
パターゴルフ広場運営事業	11,945 人
貸しボート運営事業	17,233 回
ドッグラン運営事業	10,679 頭
ベビーカー貸出し事業	2,756 回
ロッカー貸出し事業	1,534 回
ミニカー運営事業	62,067 回
変形自転車運営事業	48,090 回
ミニ鉄道運営事業	91,626 人
フアフア運営事業（中止）	—回
ジャンボアンパンマン運営事業	3,687 人
サファリペット運営事業	4,972 人

(2) ふなばし三番瀬海浜公園

利用状況

区 分		利用回数
ロッカー貸出し事業	テニスクラブハウス	17 回
	園内中央通路	2,097 回
観光望遠鏡設置事業	展望デッキ屋上	2,475 回
ミニカー運営事業	園内中央通路	6,378 回
三番瀬ガチャ事業	学習館内・展望デッキ内	1,406 回

Ⅲ 施設の修繕等

1 船橋市アンデルセン公園

- ・アスレチック修繕業務
- ・ワンパク城ローラーすべり台修繕業務
- ・どうぶつふれあい広場木柵部分修繕業務
- ・ワンパク王国污水处理施設液中膜カートリッジ修繕業務
- ・メルヘンの丘ゾーン流水中継ポンプ修繕業務
- ・メルヘンの丘ゾーン農家レインクラ―設備修繕業務
- ・メルヘンの丘ゾーン木製ベンチ修繕業務
- ・キッズガーデン噴水送水ポンプ修繕業務
- ・メルヘンの丘ゾーン浄化槽中水放流設備修繕業務
- ・南駐車場車道修繕業務
- ・子ども美術館アトリエ排煙窓修繕業務
- ・子ども美術館収蔵庫 PAC-1 自動制御設備修繕業務
- ・子ども美術館配管漏水修繕業務
- ・子ども美術館消防用設備修繕業務
- ・童話館消防用設備修繕業務

2 ふなばし三番瀬海浜公園

- ・コンコース多目的トイレ引戸修繕業務
- ・倉庫窓ガラス修繕業務
- ・環境学習館常設展示「いち・に・さんばんぜ」修繕業務
- ・立体駐車場消火器格納庫修繕業務
- ・売店換気扇修繕業務
- ・更衣室換気扇修繕業務

<附属明細書の作成について>

令和5年度事業報告には、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第34条第3項に規定されている事業報告の内容を補足すべき重要な事項が存在しないため附属明細書は作成しない。